

A011

- T: はい、えー、こんにちは、【T】です。
- I: あ、こんにちは、【I】です。
- T: 【I】さんですか？
- I: はい。
- T: はい。
- 【I】さんは、いつごろ、日本にいらっしゃいましたか？
- I: えー、わたしね、もう、9年前から、日本に来ました。
- T: あ、そうですか。
- I: はい。
- T: で、どこからいらっしゃったんでしょうか？
- I: えー、中国の【地名1】省というところから来ました。
- T: そうですか〈はい〉。
- 【地名1】省の、なんというところですか？
- 街というか、はい。
- I: 街ね、ば、中国の、あの、南のほん [方] ですが (はい)、あの、まず、でんき [天気] は (はい)、えー、あの、【地名2】よりあったかくて (はい)、んー、夏は、すごく暑いんですよ (ほー)。
- はい、あの一、地理位置は (はい)、あの一、長江の〈うん〉げりゅう [下流] です。
- T: あー、そうですか〈はい〉。
- えー、長江の…
- I: はい、長江の下側。
- T: 下側、下流なんですね。
- I: はい、下流です、はい。
- T: そうですか、ふーん。
- で、あと、どんなものが有名なんですか？
- 【地名1】省の。
- I: んー…
- T: はい。
- I: どんな、有名の〈うん〉は (はい)、まず、歴史的〈うん〉、あの一、あの、有名なこと、ありますね (はい)。
- あの、あと、らんしょうの、はち、いち、きぎ、って、あの、戦争するときに、あれ〈\*〉、それが有名だったです (はい)。
- あの、中国の〈ええ〉、あの、国民党の時代に (はい)、あの、【地名1】省で (はい)、まず、あの、百姓たちが〈うん、うん〉、そういう、政治を〈うん〉、はんして〈うん〉、あの、戦争、おこ、あの、立ち上がったということですね。
- T: あー、歴史的に、そういうところなんですか (はい)。
- はい、わか…
- I: うん〈うん〉、それで (はい)、あの、とじ [土地] も (はい)、あの、ほかのところ、ちょっと、色が、ちょっと、ち、ちがくて (はい)、ちょっと、赤っぽい土なんですけど (ほー)、それで、そろ、そろ (はい) (はい)、戦争で (はい)、みんなの、あの、亡くなったの人の血で〈うんうんうん〉、あの、染められたということ、話もありますですけど。
- T: そうですか。
- I: はい。
- T: で、たぶん、【地名1】省と【地名3】、ずいぶん違いますよね。
- I: はい。
- T: はい。
- 【地名3】は、じゃ、どんなところですか？
- I: え？
- T: 【地名3】、ここの、あ、ごめんなさい、【地名4】ですね、ごめんなさい、【地名4】は、はい？
- I: あ、【地名4】はね、んー、とてもきれいなところでしたよね (はいはい、うん)。
- みんな、人たちも〈うん〉、すごく優しくて〈うん〉、あったかくて (はい)、あの〈ええ〉、人ですね (は

A011

い)。

そいで、あの、わたし、好きなのは、【地名4】の魚です〈うん〉。

とつても、おいしいです〈はい〉。

T: そうですか。

I: はい。

T: んー、で、えーと、じゃ、その、【地名4】の魚がおいしいんですね。

I: はい。

T: なんか、あの、こう、えー、【I】さんが得意な料理って、なんかありますか？。

I: えー {笑}、得意〈はい〉料理っていう、えー、何て言えばいいけすか [いいですか] 〈はい〉。

T: 実は、1つ教えて欲しいんですね、作り方を。

I: はい、あたしね〈はい〉、あの、作ったの、餃子は〈うん〉、子どもたちが大好きです。

T: じゃ、それでいいです、教えてください。

I: いいですか。

T: 【I】式餃子を教えてください。

I: あの、あの、わたし作ったの餃子、あの、中国の水餃子です〈はい〉。

あの、まず、中身は、あの、自分のころみ [好み] で、いろいろは [わ]、い、あ、入れてもいいですけど〈はい〉、あの、こと、わたしは、ことも [子ども] のために、ぷたん [普段] あまり食べない野菜を、みじんに切つて〈うん〉、それで、合い挽き肉と〈うん〉、い、あの、混ぜて〈うん〉、あ、それで〈うん〉、少し塩〈うん〉 こしょうで〈うん〉、味、つけて〈うん〉、それから、皮は、あの、市販の、売つてるの皮じゃなくて〈はい〉、麦粉から作ります。

T: はー、いいですね〈はい〉。

手作りですね。

I: そうです {笑}。

T: はい、うんうん〈うん〉。

I: それ〈うん〉、皮、まず〈うん〉、皮は〈はい〉、まず、麦粉と〈うん〉水で〈うん〉、こね〈うん〉、こねます〈はい〉。

適当な柔らかさに〈うん〉、これ〈うん〉、これ、できあがったら〈はい〉、それで、ちょっと、10分くらいで〈うん〉、ラップ、つんで〈うん〉、ねかせておきます〈うん〉。

その、ねかせてあいたに〈うん〉、中の具を作ります〈はい〉。

T: うん、それか…

I: もっと…

T: はい、もっと教えてください。

I: もっと {笑}。

T: すごいですね。

I: あ、そうですか。

T: うんうん。

I: えー〈うん〉、にまずく〈うん〉あね〈うん〉、ぷたん [普段] は、ニナ [ニラ] と合い挽き肉〈はい〉ですけど〈はい〉、あと、みち、あの、ニンジンも、あの、すり、すり、すりにして、入れます。

T: ん、どうしますか？。

I: て、んー…

T: ニンジンを？。

I: ニンジンを〈はいはい〉、あの、すつて入れます。

T: あ、すつて入れるんです、はいはい。

I: うん、すつて入れます。

T: うん、ふーん。

I: うん、それで、味付けは〈はい〉、えーと、塩と、こしょうと、しょう油と〈うん、うん〉、と、あちろもと [味の素] 少々です〈うん、はーはーはー〉、うん。

それで、その材料を全部合わせて〈はい〉、えーと、箸で、ればり [粘り] 出るまで、かきまぜます。

T: んー、そこがポイントですね、きつとね。

I: はい。

A011

T: はい。

I: んー、それ、そのあいだにも、あと、時間たちましたので、んと、皮を作ります。

皮は、まず、あの、どれ、どれくらいかな〈うん〉、んと、大きさに分けて、そうって、手のひらで、つぶして、それから、め、あの、棒、めん棒で、あの、伸ばしておきます。

T: なるほど〈はい〉、んー。

I: それで、できあがったの〈はい〉餃子を〈はい〉、あの、お湯〈うん〉、おっきな鍋で〈はい〉、あの、水をいっぱい入れて〈うん〉、沸かしておきます〈うん、うん〉。

お湯が沸かしたら〈うん〉、餃子を入れます〈はい〉。

最初、入れるとき〈うん〉、ボトンと〈うん〉、し、水の下に、あの、沈んでいますが、あの、だんだん、できると、あの、餃子が水の上に、う、浮かんできます〈はい、はい〉。

それ、浮かんたら、すぐできたと違いますので〈はい〉、それ、少し水を足して、入れます。

これを、2、3回、くらし〈うん〉、くら、繰り返したら〈はい〉、えーと、それ、それで、餃子のできあがりです。

T: わかりました〈はい〉。

よくわかりました、ありがとうございます〈\*\*\*、はい〉。

なんか、ニンジンですりおろしてとか、とっても栄養的でいいですね。

I: はい。

T: はい〈うん〉。

でね、今、だけど、日本のお母さんたちは、あんまり手作りをしないんですね。

I: でも、作る人、\*、いっぱいいますよね。

T: あ、このあたりはね。

あの、そうですね〈うん〉。

だけど、テレビとか、見ませんか。

あんまり、お母さんたちは、インスタント食品をよく買って。

I: あ、そうですね、し、いいそ、あの、仕事とか〈はい〉、忙しいとき〈はい〉、あたしも買ってます {笑}。

T: あ、そうですか。

I: そうです。

T: んー。

I: あの、夜、帰り〈はい〉、遅くなったら〈うん〉、あと〈うん〉、帰り、うち帰る前に、ちょっとスーパーに寄って〈うん、うん〉、できたのを〈うん〉少しぐらい買っておきます。

T: なるほど。

だから、まー、それは仕方がない。

I: はい {笑}。

T: そうですか。

I: はい。

T: はい。

あの、でも、よく、あの、ニュースで、そういえば、毒入り餃子ってありましたよね、中国\*。

I: あー、そうですね。

T: あれについてはどう思いますか？

I: えー〈うん〉、あれはね〈はい〉、まず、日本は日本の言い方で、中国のほうも〈はい〉中国の言い方で、どちらが、ゆう、どちらが正しいか、だ〈うん〉、\*、だれも、はっきり言えないんですね、うん。

T: はい、だけど、日本では、梱包、そう、されてますから、コンテナで、日本で入る可能性はないっていう、いうふうにも思うんですけども。

I: でも、何て〈はい〉、中国の、中国の〈はい〉側は〈はい〉、あの、餃子の袋の外からも、あの、毒が入る [はいれる] っていうことですよ。

T: はい。

I: それで、だから、あの、運ぶ途中とか〈うん〉、それとも〈うん〉、あの、作るの工場のほうとか〈はい〉、あの、てきたのか〈うん〉、ちょっと、はんたい [判断] にくいんですね、わたしの場合は。

T: え、はんたいにくいってなんですか？

I: あたし、ど、どちらかと\*…

A011

- T: あ, はん, は一…
- I: いえば, あたしがはんたい [判断] にくいですね。
- T: あ一, は一は一。  
あ, 判断しにくいってこと…
- I: はい, 判断しにくいです。
- T: あ一, はいはい, うーん。
- I: ん一, ん, やっぱり, 最終的には, あ, まず, 安全安心の食にゆは, ぱり, 自分で作ったほうが, 一番安全安心じゃないんですか?。
- T: そうですね, 本当はね (はい)。  
だけど, やっぱり中国はそういうものを輸出しないと (\*), あの, いろいろ経済的には, 国としても困るんじゃないんですか, 財政的に, どうですか?。
- I: ん一, それはそうだ…
- T: はい。
- I: うん。  
でも, {笑} (うん), ん, 中国側と (うん), 日本と, ちょっと違ってね (はい), いろいろ管理するところもね (うん, うん), うん, そんなにきびしい [厳しい] という\*, 日本より, ちょっとゆるんでますね。
- T: ということは, もしかしたら, そこになにかあったかもしれませんよね。
- I: うん。
- T: うん。
- I: うん, どうし, どうしたらよな (あ一)。  
わざと, 毒入れたか (はい, はい), それとも (うん), あの, なんか, 間違えて (うん) 入れと (うん), かもしれないですね。
- T: うん, そうですね (うん)。  
ほんとに, あれは, ちょっと, うまくやってほしいですね。
- I: はい。
- T: はい。  
で, あの, ちょっと話は変わるんですけど, 趣味はなんですか?。
- I: あたし, 今 (うん), えーと, 押し花の, あの, 勉強してます。
- T: お一, 押し花の勉強ですか。
- I: はい。
- T: え, どのような, はい。
- I: あの, まず…
- T: ちょっと教えてください, はい。
- I: え一, 今, 始まって (うん) ばかりだけど (ええ, ええ, うんうん, はい), 今, 始めてばかりだけど (ええ, ええ), まず, なん, えーと, 2, 3回, ちょっとね, 2, 3個, 作品が, 作りましたんです (はいはい)。  
と, とっても (はい) 面白いんですよ (はい), うん。
- T: じゃ, その, 押し花をやろうと思ったきっかけは何ですか?。
- I: あのね, ほ, ほかの, あの, 日本語の先生の, あの, 誘いで (はい), あの, 一緒に見学に行ったら (はい), あ一, すばらしい, あの, その先生の (うん), あの, 教室で, 行ってみたら (うん), す, あの, いろいろの作品を (ふーん) 飾っています。  
それを見たら (うん), すばらしいですね (うん, うんうん)。  
で, その, あの, 生あし, 生の花を (うん), その, 咲いて (うん), それは時期あるんですよ (はい)。  
まず, すぐ, 落ちたりするとか (うん, うん, うん), でも, その押し花をしたら, ずっと, あの, 長く見られるんですよ (ん一, うんうん), その美しさは。
- T: 押し花は, 落ちたものを使うんですか?。
- I: \*。
- T: 咲いているものをとって?。
- I: うん, 最初は, 生でとって…
- T: やっぱ, とるんですよ (うん)。

A011

- I : 生でとって、自分で押します。
- T : でも、確かにずっと置いとけますけど、きれいに咲いてる花を、わざわざとるんだったら、見たほうがいいじゃないでしょう…
- I : あ＊、それは、もっと〈はい〉長くきれいに見せるためにです。
- T : あー〈ん〉、確かにそうですねけれども〈はい〉、そのまま、生のは生のままの姿っていうのも、いいんじゃないんでしょうか？
- I : うん、それは、も、そうだけど〈はい〉、でも〈んー〉、それは、そのままの姿で〈うん〉、あの、なんか〈はい〉、うつしさとかね〈はい、はい〉、ありますが〈はい〉、それを、あの、干して〈うん〉、まず、いろ＊の作品をチャレンジして〈うん〉、いろんの〈うん〉、あの、花おと、組み合わせで〈うん〉、そいで〈うん〉、あの、デザイン [デザイン] をしながら、えーと、それをもっと〈うん〉、その、花の〈うん〉美しさを引き立てるといことですね。
- T : は、なるほどね〈＊〉。  
そういう意味では〈はい〉、あ、かえっていいということですか。
- I : いいと思います〈んー〉。  
例えば〈はい〉、はばでも、その、はばだけ、緑色どす…
- T : はば？
- I : 葉っぱ。
- T : あ、葉っぱ、はいはい、うん。
- I : ね。  
葉っぱたけて〈うん〉、そのまま〈うん〉、まず、地面に〈うん〉咲いて〈うん〉、いろんの草とか〈うん〉、混ぜて〈うん〉、たたの〈うん〉、あの、のこさとおもったりするとかね〈はい〉。  
でも、その葉っぱをとって〈うんうん〉、干して〈うん〉、その、色の〈うん〉イメージを〈うん〉して〈うん〉、いろいろな形を、あの、作って〈うん〉、それで、その〈うん〉、その美しさはすばらしいです。
- T : なるほどねー〈はい〉。  
で、ほんとに、その、自然のね、中の、ん、咲いてる花〈はい〉、すばらしいと思うんですけど、そういえば、中国なんかでも、特に、今ね、自然破壊が、あの…
- I : え？
- T : えーと、いろんな、こう、環境が破壊されているって問題ありますよね。
- I : うん、そ、そうですね。
- T : 環境問題、自然破壊、それについてはどうお考えですか。
- I : ん、やっぱり〈うん〉、中国が、こういう環境、ほめんが、かんけい、ほめの…
- T : え、かっけい？
- I : かん、環境。
- T : はい。
- I : 環境方面の〈はい〉、あの、配慮〈うん〉、配慮が〈うん〉、すつ、日本とかより、少ないんです＊〈ええ〉、うん。
- T : で、なんか、その、経済優先みたいなね〈そうですね〉、儲かればいいみたいなのが、あたしは感じるんですけど〈うん〉、はい。
- I : だめ。  
あたしもね〈はい〉、中国がね〈ええ〉、このままだと〈ええ〉、あの、はくめつになりますだと思ふ。
- T : え、なんですか？
- I : はくめつ、はめ…
- T : 破滅する。
- I : はめ、破滅する〈はい〉、ね〈ええ〉、地球は破滅するよの、こと…
- T : 地球破滅。
- I : ね。
- T : はい、大きい国ですからね。
- I : ＊。  
そうですね、大きいですよ。
- T : はい。

A011

やっぱり、あの、環境問題っていうのは、その国だけじゃないですよ。

I : うん。

わたしもね〈はい〉、中国のいるとき、あの、親戚の家をやって〈はい〉、あの、ろうそんの、親戚の家に行ってね〈はい〉、そのうち、その地方で、日中でも、あの、うちの中に、\*、ほこりがすごいんですよ〈うん、はい〉。

何回、掃除しても、まだ、すん〈はい〉、これがいっぱいたまります。

あの、砂とかね、黄色…

T : はいはい、黄砂ですか？。

I : 黄砂。

T : はいはい。

I : うん、黄砂とか〈はい〉、いっぱい、\*\*…

T : ですよ。

そういう、その、自然の黄砂っていうのもあるし〈はい〉、それから、あの、まあ、排気ガスの問題とかね、その〈うんうん〉、車から出てくるガスと〈はいはい〉、いろんなものがありますよね〈うん〉。

で、とっても、今、親戚なんかでも、大変だったっておっしゃったけど、もし、その〈うん〉、ところね、えー、【I】さんが、自由にね、なんか、こう、方法、考えられる人だったら、どんな方法をとりますか。

自然を、今、さっき、破滅するっておっしゃった…

I : まず、ね…

T : はい。

I : あの、木を植えることです〈はい〉。

ね〈はい〉。

木を植えて、まず、環境、緑化して〈はい〉、それが、まず基本的ですね〈はい〉。

それから〈うん〉、うん、かず、車とか、やっぱり〈うん〉、中国、人口がすごいですよ〈うんうん〉。

バスも、地下鉄も〈うん〉、いつも混んでますね〈はい〉。

やっぱり、そういう、混んでる、\*て、お金持ちの人たちが、やっぱり、マイカーが欲しくて〈うん〉、自分で、自由に〈うん〉走れるようになるんですね。

T : それ、どうしたらいいんですか。

はい。

I : え？。

T : それを、どうやったら、もう少し、こう、規制できるでしょうか？。

I : {笑}、えー、ちょっと難しいですね。

T : 難しいです…

でも、ちょっと教えてください。

I : \*\*\* {笑}。

T : さっきの意見、すごく面白かったんで、ちょっと、続きを教えてください。

I : {笑}、うーん、どしたら〈うん〉、え、車の\*\*\*では\*〈はい〉。

で、自転車もいいんですよ〈うん〉。

自転車\*\*\*、中国でも、自転車も、元は自転車大国と言われるけど〈はい〉、今は、自動車が増えて〈はい〉、まず、自動車\*\*\*になれそうですね。

でも、今は、中国の政府で、も、あの、車を、あの、抑えるように〈うん〉、あの、いろんな政策がたつてますよね。

T : 車、抑えるんですか、どういうふうに抑え\*。

I : あの、車\*〈うん〉、あの、出るの、量が〈うん〉、抑えるように〈んー〉、あの…

T : 車が出る量というのは、生産ですか、それとも、こう、走るほうですか？。

I : 走る\*\*\*ね〈ほーほーほーほー〉。

たとえば、北京では〈はい〉、あの、なんて、たんすの日は、その、たんすのランパ[ナンバー]の車だけ〈うん〉、走らせるとか〈うん、うん、うん〉、あの、たんすの反対…

T : たんすって何ですか？。

I : 例えば、1日[ついたち]、2日[ふつか]とか、3日[みっか]〈はいはい〉。

じゃ、1、3〈はい〉、5、とか〈はい〉、その日は…

A011

T: 1, 3, 5の日。

I: うん, た, あの, その, たんす, っていうか〈は一は一は一〉, きす, きす\*…

T: そうですね, 奇数ですね, はいはい。

I: はい, 奇数の日では〈うんうん, うん〉, 奇数のナンバーの〈うん〉車だけ〈うん〉走らせるとか〈うん〉, と, ぐうす〈は一は一は一〉, 偶数の日は〈はい, うん〉, 偶数の車だけ〈うん〉走らせるとかね〈うんうんうん〉, うん。

T: なるほど。  
いいですね, それね。

I: はい。

T: だけど, やっぱり, その, 決めてもなかなか, すいませんね。

I: じこ [実行] は難しいんですね。

T: ですよ (はい)。

中国のかた, とっても, こう, エネルギッシュでいいんですけ, ちょっと, やっぱり, 個人的に, こう, やりたいっていうふ, ことも, 多いですよ (うん), どうでしょうか?。

I: それ, 言えば〈はい, はい〉, 話長くなる〈はい〉ことですが〈ええ, ええ〉, ぱり, 中国の教育ね〈うん〉。

まず, 最初から, 基本的に, あの, 環境を大切にしないといけないと, そういう教育を〈うん〉子どもの心に〈うん〉植え込んでいかないと〈は一〉, せば, その〈うん〉子どもたちは大きく, 大人になっても〈うん〉, そういう環境の意識が, 薄くなる, 薄いんですよ。

T: なるほどね (うん)。  
そこですね, やっぱり, 教育ですよ。

I: そうですね。

T: で, 教育問題と言えばね, 日本も, とてもいろいろ問題がありまして (はい), えー, たぶん【地名4】とかは, まあ, ないと思うんですけどね, あの, いろんなところで, 都市で, テレビをご覧になりますか?。

I: ええ, ええ。

T: あの, いじめの問題とか〈あ, はい〉, あの, 特に日本がひどいようなんですけども, それについては, 【I】さん, どう思い, われますか?。

うん, 学校でのいじめの問題。

I: \*, いじめはね (はい), ぱり, 先生の配慮も, ひ, あの, 必要だと思いますね (うん)。

あの, いじめとすぐわかったら (うん), それを抑え, 止めなきゃ (うん) いけないだしね (うん, うん), それで, その, いじめるの子の, 親も (うん), と, 相談して (うん), そういう, どうすればいいか (うん) ってと, そ, あの, 方法をたてなきゃ (うん) いけないと思いますね。

T: ただ, あの, その, 見えないところでやっている, 子供同士でっていうので, なんか, お, 教師が, どうにも対策はできない場合が多いんじゃないでしょうか?。

I: だから, 子ども, \*, いじめる, いじめられたの子どもにも (うん), そういうことあったら (うん), すぐ, あの, 親とか〈んー〉, 親と言えないだったら, 友だちとかと (うん) 相談して (うん), それで (うん), その, と, 相談された友だちから (うん), それで助けてあ, 助けてやって (うん), ええと (うん), おとの [大人] たちにと (うん), 話したらどうだろうかな。

T: あー, なるほどね (ええ)。

ただ, 日本では (うん), あの, わりに人と違うことは, あの, いけない, \*, 一緒に\*るとか, 1人だけ, いじめられても言わないっていう, そういう, なんか, 文化があるんですよ (うん, \*\*\*)。

自己主張ができないという (うん), そんなふうに思いませんか?。

I: それは, むず…

それは難しいんですね (うん)。

まだ, 真剣に考えてな (うん) …

だから, わたしの子, そうなったら, どうするかって, という (うん), 心配もありますけどね。

T: あー, そうですか。

I: うん。

T: 今, おいくつぐらいですか, お子さんは。

I: 今, ちょう\*, 長女は (うん), 7歳, ちょうど1年生ですね (はい)。

A011

うん、だから、うちに帰ってるとき〈うん〉、あの、友だちと仲良くしてますか〈うん、うん〉、\*、あの、みんなと遊べる、きと〈うん〉、特に、いいの友達は〈うん〉、ないようですね〈うん、うん、うん、うん〉。

それで、ほかの〈うん〉友だちも、いいの友だちが、あるそうですね〈うん〉。

だから、どうしたらいいかなって、一緒に話しよう\*\*\*。

T: んー、なるほどね〈うん〉。

ま、あの、お子さん、学校にいらしたりして、ま、ここに住んでらして、ま、日本と中国の、ものすごく、文化の違いみたいな…

I: そうですよ。

T: のは、なにか、特に感じられたことってありますか、うん？

I: んー。

学校の教育はね〈うん〉、こっちの、あの、【地名4】の、あの〈うん〉、【学校名】では〈うん、うん〉、なんか、違うの、一番の違いは〈うん〉、あの、\*、先生のことですね〈うん〉。

すべ、あの、せんせ、いちね、まず、ひとがく、学級の〈うん〉先生は〈うん〉、先生、たった1人ですよ〈はい〉、担任1人ですね〈はい、はい〉。

すべてのかまく [科目] を、教えるんで〈はい〉、ということですね〈ええ〉。

中国では、そうじゃないんですよ〈うん、うん〉。

んと、まず〈うん〉、担任の先生は、国語とか算数を、主要な科目を教えるとかに、あと、音楽とか〈うん〉体育とか〈うん〉、別の先生が担任したりすることも〈はい〉あります\*〈はい〉。

それがいち〈うん〉。

それで、授業の時間の内容も〈はい〉、なんか、少ないみたいですね〈うんうんうん、うん〉。

なんとかあの、学校の参観日とか〈はい〉行ってみましたけど〈はい、ええ〉、それで、なんか、繰り返して、まず、1つだけで、すごく、少ないと思いますね〈んー〉。

同じ\*\*\*。

T: 確かに、学校のね、システム、問題だと思うんですけど〈うん〉、それより、わたしは、あの、家庭の教育、親の姿勢かな、と思うんですけども、はい。

I: か、家庭の教育と、例えば、親たち、みんな、仕事で〈うん〉忙しいんですよね〈はい〉。

そ、あと、見てる、見ている時間はね、まず、限りある、時間は、限りありますよね〈うん、うん〉。

だから、ほ、子どもたちは〈うん〉、ほとんどの時間は、学校の中〈はい〉ですから〈はい〉、勉強するのは〈うん〉、やっぱり、学校で〈うん〉、あの〈うん〉、勉強したほうがいいじゃないですか\*〈うん〉

…

T: だから、やっぱり、中国のシステムのほうが〈はい〉いい。

んー、こう、比較してみ…

I: うん、中国のほうが、厳しくて、いいと思います。

T: はー、なるほどね〈うん、はい〉。

じゃ、そのへんが、やっぱり日本の…

I: それで〈はい〉、宿題もね〈うん〉、日本の宿題、少なーい、ですよ〈うん〉。

コピー、プリントで、1枚くらいで。

T: でも、宿題をたくさん出したから、勉強するんじゃないかって、やっぱり、もっと、自分からやったほうがいいんじゃないんですか？

I: た、\*\*\*、れんしゅ、まず、ほら〈はい〉、子どもが小さいから、遊びのは、いち、まずは〈うん〉、一番好きですよ〈はい〉、勉強するのは〈はい〉嫌がって〈はい〉。

だから、先生から、あの、圧力をかけないと…

T: 圧力をかけるんですか、せ、教師が。

I: うん〈ほー〉、かけないと、やっぱり、ほら、子どもは、うち帰っても、やっぱり、親の言葉は、あの、あんまり聞かない、先生の言葉が一番と、わたしは中国ではね。

T: あ、中国ではね。

I: 先生がいたら [言ったら]、やる〈はい〉、先生言わないから、やらない〈あー〉、\*\*\*…

T: でも、日本では、たぶん、そういうシステムじゃないと思うんですね。

I: あー、そうです\*。

T: はい〈うん〉、あ、そこが違うと。



A011

- I : ええ〈あー〉, 違いと思いますよ〈うん〉。  
だ, 宿題, いっぱい持って帰って〈んー〉, やら, やらなきゃ, あした出せないから〈うん〉, がんばってやるね〈うん〉。  
たぶん, 自分から〈はい〉, \*\*\*の, 意識もあるけど〈はい〉, そういう子どもは, まず遊びが夢中で〈はい〉, 勉強する時間が〈うん〉, \*, 少しだけでいいかなって\*\*\*ね〈うん〉。  
そう, とにかく, 日本で, ゲームとか〈うん〉, テレビとか〈うん〉, いろんな〈うん〉, はんなん [氾濫]してるんですよね〈うん, うんうんうん〉。  
そしたら, 遊びに, ひ, あの, 引っ張られるじゃないか〈うん〉, \*\*\*。
- T : そうですね。  
でも, やっぱり, 教師が圧力をかけて, 教師からよりは〈うん〉, もっと, こう, 自分たちで, 勉強したいってほうが, わたしは, いいと思うんですけどもね。
- I : うん, それは〈はい〉, できれば, それは, 子どもたちができれば, 一番いい〈うん〉ですけどね〈はい〉, そういう子どもは, いないのもいるんですよね〈なるほど〉。  
そういう, 自分から〈はい〉, 勉強する気が〈うん〉出てこないの子もいるで〈うん, うん〉。  
そういう子だったら〈うん〉, やっぱり, 先生から, いっぱい言っていていいじゃないかなってね。
- T : なるほどね〈うん〉。  
ええと, ありがとうございます。  
もっともっと, 意見, き, うかがいたいんですけど, 時間がね〈\*〉, あの, ありませんので, ええと, ちよっと, ロールプレイというのを, して, したいんですけど〈はい〉, ご存知ですか？
- I : え？
- T : ロールプレイというのは, 2人でミニドラマをやります。
- I : あ, {笑}, ミニドラ\*？
- T : はい〈あ〉, え, ミニドラマ。
- I : あ, はい。
- T : いいですか？
- I : はい。
- T : ええと, そしたらですね, ええと, ちよっと, これを読んでいただけますか？
- I : はい。  
あなたの友人は国際結婚しようとしていますか [が], 相手のご両親に反対されています。  
友人が結婚できるように, 相手のご両親を説得しなさい。
- T : はい, いいですか。
- I : はー。
- T : あの, お友だちが, ええと, 例えば, 私は, あの【人名1】にしますね。
- I : はい。
- T : 【人名1】という, あの, 親しいお友だちの, お母さんですよ。
- I : はい。
- T : お母さんですね〈うん〉。  
歳とったお母さん。  
その人に, 【人名1】を, ね, 中国の人と一緒に結婚させてあげてくださいって, 頼みに来てください。
- I : {笑}。
- T : いいですか, はい。  
え, あの, ドラマですからね〈{笑}〉, はい, 楽しくやりましょう〈はい〉, はい〈あー〉。  
はい。  
あ, どうぞ。
- I : どうぞ〈はい, あ〉, はい, どうも {笑}。  
ええとね〈はい〉, あたしは, 【人名1】の友だちなんですけど…
- T : あ, はいはい〈\*, うん〉。
- I : 今度, \*…
- T : いつもお世話になっています, どうも。
- I : いいえ, なん\*\*。

A011

ええとね〈はい〉、ちょっと、今回、い、あの、【人名1】さんが、中国のかたと〈あー〉、あの、2人で〈うん〉、ええと、あい、愛し合っています。

T: あー、そうなんで、あー…

I: けっけ、あの、せーかく [せっかく]、愛し合っていますから〈はいはい〉、ええと…

T: そのことですね。

I: なんとかかね〈ええ、ええ〉。

なんとか〈うん〉、あの、2人のけっこー [結婚] すること、賛成していただけないかな〈あー〉。

た、まずい、そういう言い方できないんだ。

T: いや、でも、ちょっと、それはね〈うん〉、わたしとしても、一人娘だしー〈うん〉、ちょっと困るんですよ、はい。

許せないんですね、そ、それだけは。

主人は、そう言ってますしね。

I: うーん。

そ、そ、でも、あの、今はね、すごく、あの、交通が便利だし〈うん〉、あの、まず、例えば、外国でも〈うん〉、すぐ1時間でも、2時間でも、すぐ、あい、あの、行けるですしね。

T: そんな問題じゃないんです。

文化が違うから、考え方とか。

I: それが、それ、文化、違うけど、それなりの楽しみがあるじゃないですか。

T: んー、\*…

I: ねえ、いろんの、外国の、あの、知らないことも、あの、まず、あの、あの、\*、あの、その、わかるようになるじゃないんですかね。

T: そんなの、べつに、結婚しなくたって、友だちでいいんじゃないんですか、友だちいっぱい作れば。わたしは、ちょっと不安なんですよ。

I: 大丈夫ですよ。

今の、あの〈うん〉、社会は〈うん〉、あの、国際社会になってますから…

T: うん、それはわかりますけど…

I: うん、どちらでも、む、あの、【人名1】さんは、中国に行って、行ったりとか、中国からも、いろの、嫁さんも来てますよね、うん。

T: そうですかねー。

ちょっと、ま、考えても、あれですけど。

また、ちょっと、1回、はい、あの、主人と相談してから、【I】さんに、す…

I: あ、そうですか {笑}。

ええ…

T: うん。

今日は、ほんとに、わざわざね、【人名1】のために、ありがとうございました。

I: いえ、大丈夫\*。

本当はね〈うん〉、あの、2人ね、愛し合ってるから〈うん〉、なんとかね〈はい、はい〉、賛成してあげれば〈うん〉、いい、いい、ことですね。

T: そうですか。

I: うん。

T: はい、そのお気持ち、ありがとうございました {笑}。

すいません、それで、このロールプレイ終わるんですけど、それを〈うん〉、今度は、すいませんね、今度は、ちょっと若くなって、\*、【人名1】さんに…

I: \*\*\* {笑}。

T: ね、ね、いいですか。

I: はい。

T: すごく親しい友達ね〈はい〉。

ね、それで〈うん〉、報告してくださいね〈うん〉。

いいですか、報告、今のことをね。

I: はい {笑}。

A011

T: ねえ、ねえ、ねえ、【I (姓)】さん、なんでしたっけ、下の名前は？。

I: {笑}, なん\*…

T: 【I (姓)】, なんでした？。

え、\*さんでしたっけ？。

I: \*\*\*。

あ、【I (名)】さん、うん【I】\*。

T: あ、【I】さん。

I: はい。

T: ね。

【I】さん、行ってくれたんだって？。

うちのさ、あの、母は、何て言ってた、教えて？。

I: うん、そいでね…

T: 心配\*\*\*…

I: やっぱり〈うん〉、やっぱり〈うん〉、お母さんね〈うん〉、【人名1】さんのことが、心配してるですからよね〈うん〉。

うん。

T: それで、なんだって、オッケーって言ってた、だめ？。

I: うん、まず〈うん〉、うん、なんか、まだ、オッケーって、はっきり言ってないけど〈うん〉、じゃ、考えますって、言ってるんですね〈うん〉。

な、できれば〈うん〉、あの〈うん〉、2人で〈うんうん〉、お母さんに説得すれ、したら、どうけすか [どうですか]？。

T: 2人でって〈うん〉？。

わたしと、彼と？。

I: あ、彼氏と、彼氏と一緒に。

T: 【人名2】さんと？。

I: え？。

T: あ、【人名2】, ん、わたしの、ほら、彼の【人名2】と、一緒に行けばいいって？。

I: あの、あの、彼氏とね。

うん。

T: ほんと？。

I: うん。

まず〈うん〉、お母さんは、娘のことを心配してるから〈うん〉、まず、彼氏から〈うん〉、あの、お母さんを〈うん〉、\*、あの、説得して〈うん〉、やの、まず〈うん〉、例えば、あの、お母さんの心配のことを〈うん〉、しょうらく [承諾] して〈うん〉 やって〈うん〉、それで、お母さんを〈うん〉 安心させたら〈うん〉、たぶん、オッケーできるんだ\*、と思います。

T: ほんと？。

I: うん。

T: わかった、じゃ、もう1回だけ、ちょっと、助けてね〈\*〉。

考えてみるね〈{笑}〉。

どうもありがとう。

I: うん、{笑}。

T: はい。

あの、これで、ロールプレイ全部終わりますね〈{笑}〉。

ありがとうございました、はい〈はい〉。

今日は、ええと、今、11時ですね〈うん〉。

これからどうなさいますか？。

これからどうしますか？。

I: うん〈はい〉、まだ勉強しますよ。

\*\*\*。

T: 勉強続けて、で、午後は、なんか予定があるんですか？。

A011

I : え？。

T : 午後は、はい？。

I : うん、午後はね〈うん〉、ちょっと、子どもたちと〈うん〉一緒に〈うん〉、スバ [スーパー] に行ってみ、  
みたいんですね。

T : え、どこに？。

I : スーパー。

T : あ、スーパーね。

I : はい。

T : ちょっとうかがいたんです、いつもこんなにいいお天気なんですか？。

I : え？。

T : 【地名4】は、とっても、今日、いいお天気です。

I : うん、今日はいい天気ですね、はい。

T : ねー。

ほんとに気持ちのいい日ですね。

I : はい〈はい〉、そうですね。

なんか〈はい〉、春が来たような気分ですね。

T : ですねー、はい〈はい〉。

あの、また、日本語の勉強、がんばってください〈はい〉。

今日は、どうもありがとうございました。

I : はい、ありがとうございました。

T : どうも。